

平成 21 年度環境技術実証事業
ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）
第 1 回 ワーキンググループ会合
議事要旨

- 開催日時 2009（平成 21）年 5 月 28 日（木）16：00～18：00
- 開催場所 鉄鋼会館 705 号室
- 出席検討員 近藤座長、武田委員、足永委員、笠松委員、森川委員
- 配布資料
 - 資料 21-外皮 WG1-1 : ワーキンググループ設置要綱(案)
 - 資料 21-外皮 WG1-2 : 平成 21 年度実証試験要領(案)
 - 資料 21-外皮 WG1-3 : 平成 20 年度実証試験要領からの主な変更点
 - 資料 21-外皮 WG1-4 : 実証機関選定の考え方について(案)
 - 資料 21-外皮 WG1-5 : 実証機関の募集における申請書類について(案)
 - 資料 21-外皮 WG1-6 : 実績実証機関継続申請書類について(案)
 - 資料 21-外皮 WG1-7 : 年度スケジュール(案)
 - 参考資料 21-外皮 WG1-1: 平成 21 年度 環境技術実証事業実施要領（第 2 版）
 - 参考資料 21-外皮 WG1-2: 平成 20 年度実証試験要領

■議事内容

1. 開会

開会にあたり、環境省の岩田室長より挨拶がなされた。

事務局より、当 WG の座長に近藤靖史教授（東京都市大学）を推薦し、全会一致で承認された。

2. 審議事項

2-1. ワーキンググループの設置

事務局より、資料 1-1 に基づき、ワーキンググループ設置要綱(案)を提案した。

検討員の構成については実証対象技術の拡大等より専門的な知見が必要になった場合には適宜検討員を増員することを確認し、同要綱(案)は承認された。

2-2. 実証試験要領

事務局より、資料 1-2～資料 1-3 に基づき、平成 20 年度実証試験要領を実証対象技術の増加・拡大に柔軟に対応可能な要領とすることを主たる目的に修正した「平成 21 年度実証試験要領(案)」を提案した。

以下の点を踏まえて、事務局で要領(案)を修正し、座長、検討員に再度確認・承認を受けることとした。

- ・ 本要領(案)では希望があった場合のみに行なう“数値計算のオプション”を削除しているが、オプションがあるということ、どのような計算ができるのか（例えば、地域別、建物種別）は述べておく。
- ・ 保水性建材に対する試験方法が確立されていないが、今後申請が見込まれる

技術と思われるので、実証機関で検討するに値する。

- ・ 高反射率ブラインド、日射遮蔽ガラス、日射遮蔽網戸については、これまでの試験方法は適用できる部分が多いと思う。幅広く検討するというので、実証機関において検討する。
- ・ 環境技術実証事業検討会から示される方針を受けて、ETV マークへの表示項目、内容について、当分野としての方針を本年度検討する。
- ・ 実証報告書の例は、塗料の事例を掲載する。他の技術は HP を参照できるように URL を記載する。

2-3. 実証機関の公募

環境省より、資料 1-4～資料 1-6 に基づき、実証機関選定の考え方、申請書類がついて説明された。本年度より、新たに独立行政法人、地方独立行政法人が公募対象に加わったこと等が説明され、各案は承認された。

2-4. 年間スケジュール

事務局より、資料 1-7 に基づき、本年度の年間スケジュールを提案し、承認された。

2-5. 今後の進め方

実証試験要領(案)は、座長、検討員の承認を経て、実証機関公募時に公開することとした。

3. 次回日程

第 2 回ワーキンググループ 7 月 10 日（金）16：00～18：00（非公開）

※実績のある実証機関からの継続申請のみであった場合は、WG を開催せず、書面審議にて行なう。

4. 閉会

議事要旨は事務局の責任において作成し、環境省の承認を得て公開することを確認した。

以上をもって閉会した。

（文責：環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり。）